

文学サブプログラム

専門基礎科目(文学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OAA3005	文献資料学	1	1.0	1・2	春C	火5,6		吉森 佳奈子, 秋山学, 馬場 美佳, 佐野 隆弥, 稀代 麻也子	文学作品を研究するさいの基礎となる文献資料の扱い方について講義を行う。	その他の実施形態 担当者によって、オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)。
OAA3006	比較文学	1	1.0	1・2	春C	月5,6		増尾 弘美, 加藤 百合, 谷口 孝介, 青柳 悦子	地域や言語を横断するかたちで文学研究をおこなうための方法について学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
OAA3007	表象文化論	1	1.0	1・2	秋A	集中		齋藤 一, ラフオンテヌ アンドレ, ヘーゼルハウス, ヘラト, 小川 美登里	文学作品のみならず広く文化現象をテキストとして解析する方法について講義を行う。	使用言語は英語及び日本語。対面での実施を予定しているが、状況に応じてオンライン・オンデマンドでおこなう。 対面 人社A101

専門科目(文学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OABAE01	文学批評研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	火6		青柳 悦子	20世紀以降蓄積されてきたさまざまな文学理論を意識しながら、文学研究を学術的に展開するための方法論を発表形式で実践的に学ぶ。学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な分析対象テキストを紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介されるテキストを授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。	西暦偶数年度開講。 02DSA01と同一。 対面
OABAE02	文学批評研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	火6		青柳 悦子	文学研究を学術的に展開するための方法論を発表形式で実践的に学ぶ。学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な先行研究を紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。	西暦偶数年度開講。 02DSA02と同一。 対面
OABAE03	文学批評研究(2A)	2	1.0	1・2					方法論的意識をより拡充しながら、文学研究を学術的に展開するための能力を高める。とりわけ近年の新たな研究動向に着目し、これからの文学研究に必要な着眼点や有効な問題設定を抽出する。先行研究からとりわけ分析の手法と論述の技法を学び、みずからの研究活動に生かすために、教員および学生各自が自分の研究と関わる優れた著作・論文を選んで紹介するとともに批評的な分析を加える。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでくることを義務とし、討議の充実をはかる。	西暦奇数年度開講。 02DSA03と同一。 対面
OABAE04	文学批評研究(2B)	2	1.0	1・2	秋AB	火6		青柳 悦子	文学研究能力を高め、必要な基礎知識を確かなものとすると同時に、将来の文学教育者としての基礎的な資質を養うためにも、文学批評概説ないし文学研究入門書の一項目を受講生各自が試行的に執筆する。モデルとして、橋本陽介『物語論 基礎と応用』、丹治愛・山田広昭『文学批評への招待』、土田知則・青柳悦子『文学理論のブラクティス』、廣野由美子『批評理論入門—『フランケンシュタイン』解剖講義』などを用いる。学生各自が選んだ対象作品について、構想の作成、素案執筆、学生相互の批評を経た推敲をおこない、学術的信頼を獲得しうる水準にまで高めていく。	西暦奇数年度開講。 02DSA04と同一。 対面
OABAE05	文学研究発表演習A	2	1.0	1	春AB	木6		加藤 百合, 青柳 悦子, 齋藤 一	受講生全員が研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における論文執筆や学会発表の方法の基礎を実践的に学ぶ。発表者は、必ずしも完成された研究内容でない萌芽的な研究であっても、問題意識を鮮明にし、先行研究を概観しつつ当該研究の位置づけを示し、的確に対象テキストの分析をおこなったうえで有意義な考察を展開するよう努め、その成果を学術的な形式にのっって発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための改善策を検討し、建設的な発言能力を磨く。	02DSA05と同一。 対面

OABAE06	文学研究発表演習B	2	1.0	1	秋AB	木6	加藤 百合, 青柳悦子, 齋藤 一, 吉原 ゆかり	受講者全員がより高度な学術的水準をめざして研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における学術論文執筆や学会発表の洗練方法を実践的に学ぶ。発表者は学位論文に結実することを念頭にいた研究発表をおこない、問題意識を深化させ、先行研究を批判的に概観しつつ当該研究の独自性を示し、的確かつ説得力ある対象テキスト分析をおこなったうえで学界に寄与する考察を展開するよう努め、その成果を完成度の高い学術的形式にのっとりて発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための有効な改善策を検討し、建設的な発言能力を一層磨いて、学術交流のための資質を高める。	02DSA06と同一。 対面
OABAE07	文学理論研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	月3	齋藤 一	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最新の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウエルバッハ『ミメシス』を、主に日本語訳を利用してしながら講読することで、ヨーロッパ文学における現実表象について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DSA07と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE08	文学理論研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	月3	齋藤 一	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最新の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エドワード・サイード『オリエンタリズム』の英語原典(部分)を、日本語訳を参考にしながら講読することで、脱構築、ポストコロニアル批評の根本的発想を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DSA08と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE09	文学理論研究(2A)	2	1.0	1・2				最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最新の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウエルバッハ『ミメシス』(日本語訳下巻)を、主に日本語訳を利用してしながら講読することで、言葉の意味作用の複雑性について学ぶ。	オンライン・双方向でおこなう。 西暦奇数年度開講。 02DSA09と同一。
OABAE11	文学理論研究(2B)	2	1.0	1・2				最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最新の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、フレデリック・ジェイムソン『政治的無意識』の日本語訳を、英語原典を参考にしながら講読することで、マルクス主義批評の根本的発想を学ぶ。	対面授業を予定しているが、状況に応じてオンライン(双方向)でおこなう。 西暦奇数年度開講。 02DSA11と同一。 対面
OABAE12	文学交流論演習(1A)	2	1.0	1・2	春AB	火3	吉原 ゆかり	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品を精読する。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法を習得する。植民地出身者が宗主国語で書いた作品や、テキストで用いられる言語を第一言語としない人により書かれた作品、高級文化とポピュラー・カルチャーを交錯させる作品など、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品を取り上げる。	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 02DSA12と同一。
OABAE13	文学交流論演習(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	月2	吉原 ゆかり	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流についての理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキストの精読を行う。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法、研究倫理を習得する。ジェンダー論、ポストコロニアル理論をとくに重視する。LGBTQ、女性、人種的マイノリティなど、社会的弱者によって/ついて書かれたテキスト作品を重視する。	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 02DSA13と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE14	文学交流論演習(2A)	2	1.0	1・2				広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための基礎力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読を合わせて行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 02DSA14と同一。 オンライン(同時双方向型)

OABAE15	文学交流論演習(2B)	2	1.0	1・2						広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相に関する理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、学術・研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための応用力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読スキル育成を行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象、文化序列に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 02DSA15と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE16	比較文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木3		加藤 百合		比較文学のひとつの方法論として翻訳研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で検証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA16と同一。
OABAE17	比較文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木3		加藤 百合		明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。まずは二次資料による現在の解釈を離れて、文献を初出の形で読むことによる研究方法を学ぶ。受講者の知識の領域や興味範囲を勘案してより具体的な計画をたてる。自らが研究している領域のなかから翻訳・翻案に関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA17と同一。 その他の実施形態 発表、個別指導などを 対面で実施。
OABAE18	比較文学研究(2A)	2	1.0	1・2						比較文学のひとつの基本的研究としてジャンル研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で検証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA18と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE19	比較文学研究(2B)	2	1.0	1・2						明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。近代文学を歴史的に、当時のままの形(初出形態かそれを代替するもの)で丁寧に読み、時代状況のなか位置づける訓練をする。必要な資料と適切なテキストを準備しそれを読む。基本的に演習形式で行なう。自らが研究している領域のなかから外交文学受容とジャンルに関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA19と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE21	古典古代学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	金5	人社 B505	秋山 学		旧約聖書研究。原典をヘブライ語で講読するとともに、ギリシア教父の注釈・新約聖書における受容などを勘案して総合的に考察する。ヘブライ語の文法知識を固めることも念頭に置く。	西暦偶数年度開講。 02DSA21と同一。 対面
OABAE22	古典古代学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	金5	人社 B505	秋山 学		春学期に引き続き、旧約聖書研究を行う。原典をヘブライ語で講読するとともに、ギリシア教父の注釈・新約聖書における受容などを勘案して総合的に考察する。今学期は詩編研究を中心に据える予定。	西暦偶数年度開講。 02DSA22と同一。 対面
OABAE23	古典古代学研究(2A)	2	1.0	1・2						ルネサンス期のラテン語・イタリア語文献を原典で講読する。ルネサンス期イタリアの文化は、三代にわたるメディチ家の人々、すなわちコジモ(1389-1464)、ピエロ(1416-1469)、ロレンツォ(1449-1492)の治世に極まる。この授業ではロレンツォによる『書簡集』を系統的に講読し、芸術家や文化人たちとの交流の諸相を浮き彫りにする。テキストとしては、ニコライ・ルビンスティン編による『書簡集』より第3巻(1478-1479)を扱う。また必要に応じて聖書に言及し、神学的背景を辿る。	西暦奇数年度開講。 02DSA23と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE24	古典古代学研究(2B)	2	1.0	1・2						ルネサンス期のラテン語・イタリア語文献を原典で講読する。ルネサンス期イタリアの文化は、三代にわたるメディチ家の人々、すなわちコジモ(1389-1464)、ピエロ(1416-1469)、ロレンツォ(1449-1492)の治世に極まる。この授業ではロレンツォによる『書簡集』を系統的に講読し、芸術家や文化人たちとの交流の諸相を浮き彫りにする。テキストとしては、ニコライ・ルビンスティン編による『書簡集』第4巻(1479-1480)を扱う。また必要に応じて聖書に言及し、神学的背景を辿る。	西暦奇数年度開講。 02DSA24と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE25	古典古代学演習(1A)	2	1.0	1・2	春AB	金1		秋山 学		五經の一つ『詩経』について、その伝承史を考えながら作品を解釈する。経学(特に『春秋』)の中で、『詩経』に収められた諸詩編がどのような解釈を施されてきたかを批判的に考えていきたい。	西暦偶数年度開講。 02DSA25と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE26	古典古代学演習(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	金1		秋山 学		春学期に引き続き、『詩経』について、その伝承史を考えながら作品を味読する。秋学期には『春秋左氏伝』ほかの資料をも参照し、『詩経』に収められた諸詩編に対する歴史的・思想的解釈の可能性について考えてみたい。	西暦偶数年度開講。 02DSA26と同一。 オンライン(オンデマンド型)

OABAE27	古典古代学演習(2A)	2	1.0	1・2						弘法大師空海以来、本邦での一千年に及び梵字悉曇学の伝承を、江戸期に『梵学津梁』全1千巻のかたちで集大成した慈雲尊者飲光のヴィジョンを継承し、サンスクリット文献学を悉曇学の延長線上において捉える。サンスクリット文法に関しては、辻直四郎『サンスクリット文法』(岩波全書、1974年)の体系的記述を全面的に参照する。テキストとしては『般若心経』の本文伝承を論じ、かつ併せて本邦における仏教諸派の教義史をも参照する。また印欧語法文学を参照し、ギリシア語・文学にも論及する。	西暦奇数年度開講。 02DSA27と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE28	古典古代学演習(2B)	2	1.0	1・2						弘法大師空海以来、本邦での一千年に及び梵字悉曇学の伝承を、江戸期に『梵学津梁』全1千巻のかたちで集大成した慈雲尊者飲光のヴィジョンを継承し、サンスクリット文献学を悉曇学の延長線上において捉える。サンスクリット文法に関しては、辻直四郎『サンスクリット文法』(岩波全書、1974年)の体系的記述を全面的に参照する。テキストとしては『金剛般若経』の本文伝承を論じ、かつ併せて本邦における仏教諸派の教義史をも参照する。また印欧語法文学を参照し、ギリシア語・文学にも論及する。	西暦奇数年度開講。 02DSA28と同一。 オンライン(オンデマンド型)
OABAE29	和漢比較文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	火4	人社A620	谷口 孝介	古代和歌の表現に習熟し、古代文学関連の文献の扱い方を学ぶことを主な目的とし、『古今和歌集』から「寛平御時后宮歌合」歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。扱う資料の概観を行った後、12番歌、13番歌について演習担当者を決めて報告を求め、討議を行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA29と同一。 対面	
OABAE31	和漢比較文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	火4	人社A620	谷口 孝介	古代和歌の表現に習熟し、古代文学関連の文献の扱い方を学ぶことを主な目的とする。『古今和歌集』から「寛平御時后宮歌合」歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。15番歌、46番歌について演習担当者を決めて報告を求め、討議を行う。	西暦偶数年度開講。 02DSA31と同一。 対面	
OABAE32	和漢比較文学研究(2A)	2	1.0	1・2					古代和歌の表現に習熟し、古代文学と関連の深い歴史文献の扱い方を学ぶことを主な目的とする。『古今和歌集』から「寛平御時后宮歌合」歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて漢詩表現を支える歴史文献の用語についても習熟することで、『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の連続性に目を向ける。扱う資料の概観を行った後、92番歌、101番歌について演習担当者を決めて報告を求め、討議を行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA32と同一。 対面	
OABAE33	和漢比較文学研究(2B)	2	1.0	1・2					古代和歌の表現に習熟し、古代文学と関連の深い歴史文献の扱い方を学ぶことを主な目的とする。『古今和歌集』から「寛平御時后宮歌合」歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて漢詩表現を支える歴史文献の用語についても習熟することで、『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の連続性に目を向ける。103番歌、131番歌について演習担当者を決めて報告を求め、討議を行う。	西暦奇数年度開講。 02DSA33と同一。 対面	
OABAE34	日本古典文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木2	人社A207	吉森 佳奈子	注釈史のなかで、注釈書が『源氏物語』を離れて生きていった実態を、中世、近世に注目し、あきらかにすることをこころみる。あわせて、伝統的な文献学の方法が、通説のように『源氏物語』注釈書に無条件にあてはめ用いられるかについて問い、従来、価値のないものとして顧みられることの少なかった近世末期の転写本を生んだ状況を具体的に問う。	西暦偶数年度開講。 02DSA34と同一。 対面	
OABAE35	日本古典文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木2	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史研究。文学史という視点で『源氏物語』注釈史を顧み、中古、中世および近世の教養の基盤について考察する知識、技術を得る。注釈史、享受史がとぎれることがなかったという点で『源氏物語』は、物語作品として特異な存在といえる。そのことに留意し、『源氏物語』を文学史のなかで捉えだすことをこころみる。その過程でとくに、『源氏物語』の諸本について、その注釈史と不可分の問題をもつことについて具体的に考察する。	西暦偶数年度開講。 02DSA35と同一。 対面	

0ABAE36	日本古典文学研究(2A)	2	1.0	1・2					『源氏物語』注釈史の問題をとりあげる。注釈史のなかで『源氏物語』中の語に漢字をあて、出典を記す注が見られる。それらが、同時代の字書類に引用されて『源氏物語』を離れて生きていった実態をあきらかにすることをこころみる。さらに、従来、近代以降の常識ではジャンルが異なるため、そのかわりについて注目されることのなかった『三教指帰』と『源氏物語』注釈史とがかわりをもつことについて考察する。近代以降『源氏物語』理解とのかかわりがわからなくなっていた注がどのような空間のなかで生きていたかについて具体的に考察してゆく。	西暦奇数年度開講。 02DSA36と同一。 対面
0ABAE37	日本古典文学研究(2B)	2	1.0	1・2					『源氏物語』について、文学史の諸問題を意識し、本文間の異文が生じた経緯を、注釈書、梗概書の記事から考察する。さらに、享受者に、武士、連歌師が加わったことで、この作品の理解がどのように変わっていったかを具体的に考え、『源氏物語』の本文、注釈の歴史について、考察をすすめる技術、知識を得る。また、平安物語作品で、注釈史のとぎれることのない特異な作品として、『源氏物語』の他に『伊勢物語』を指摘できるが、その双方が引用する漢籍が、直接引用ではなく、清原宣賢周辺の抄物経由であることを指摘、その宣賢が依拠したものという視点から、中世・近世期の教養の基盤をなす『日本書紀』注釈史との接点についても考察してゆく。	西暦奇数年度開講。 02DSA37と同一。 対面
0ABAE38	日本近代文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木4		馬場 美佳	近代の作品(散文)について、歴史的・文化的背景をできるだけ明確することで、同時代的な文脈における実証的な観点からの評価を試みるものである。とくに前近代から近代にかけての変革期である明治期の文学を扱う。出版事情等の書誌的な調査も重視する。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査事項と、作品解釈について各自発表を行ってもらうものとする。	西暦偶数年度開講。 02DSA38と同一。
0ABAE39	日本近代文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木4		馬場 美佳	近代の作品(散文)について、歴史的・文化的背景をできるだけ明確することで、同時代的な文脈における実証的な観点からの評価を試みるものである。とくに近代の文学的諸制度が確立・隆盛する大正・昭和期の文学を扱う。出版事情等の書誌的な調査も重視する。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査事項と、作品解釈について各自発表を行ってもらうものとする。	西暦偶数年度開講。 02DSA39と同一。 対面
0ABAE41	日本近代文学研究(2A)	2	1.0	1・2					近代の作品(韻文)について、歴史的・文化的背景をできるだけ明確することで、同時代的な文脈における実証的な観点からの評価を試みるものである。とくに前近代から近代にかけての変革期である明治期の文学を扱う。出版事情等の書誌的な調査も重視する。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査事項と、作品解釈について各自発表を行ってもらうものとする。	西暦奇数年度開講。 02DSA41と同一。 オンライン(同時双方向型) 教室等詳細はmanabaを確認すること (A101)
0ABAE42	日本近代文学研究(2B)	2	1.0	1・2					近代の作品(韻文)について、歴史的・文化的背景をできるだけ明確することで、同時代的な文脈における実証的な観点からの評価を試みるものである。とくに近代の文学的諸制度が確立・隆盛する大正・昭和期の文学を扱う。出版事情等の書誌的な調査も重視する。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査事項と、作品解釈について各自発表を行ってもらうものとする。	西暦奇数年度開講。 02DSA42と同一。 オンライン(同時双方向型)
0ABAE43	イギリス文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	火5	人社A202	佐野 隆弥	この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の基本的技能の習得、(2)先行研究のサーヴェイカの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、A Midsummer Night's Dreamを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を議論を通して涵養する。	西暦偶数年度開講。 02DSA43と同一。 対面

OABAE44	イギリス文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	火5	人社 A202	佐野 隆弥	この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の発展的技術の習得、(2)先行研究のサーヴェイカルの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、A Midsummer Night's Dreamを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を涵養した上で、オリジナリティのある論文作成のスキルを議論を通して習得させる。	西暦偶数年度開講。 02DSA44と同一。 対面
OABAE45	イギリス文学研究(2A)	2	1.0	1・2					この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の基本的技術の習得、(2)先行研究のサーヴェイカルの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、Romeo and Julietを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を議論を通して涵養する。	西暦奇数年度開講。 02DSA45と同一。 対面
OABAE46	イギリス文学研究(2B)	2	1.0	1・2					この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の発展的技術の習得、(2)先行研究のサーヴェイカルの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、Romeo and Julietを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を涵養した上で、オリジナリティのある論文作成のスキルを議論を通して習得させる。	西暦奇数年度開講。 02DSA46と同一。 対面
OABAE47	英語圏文学文化研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	金2	人社 A207	ラフォンテーヌ アンドレ	This seminar explores the cultural productions of the Great Depression in America. We will be exploring music, poetry, literature, radio, and cinema, focusing on changing conceptions of gender, values, and race relations. Additionally, we will be engaging with theories of modernity in the American context.	西暦偶数年度開講。 02DSA47と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 in an online hybrid format (combining asynchronous [filmed lectures] and synchronous [TEAMS discussions] content)
OABAE48	英語圏文学文化研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	金2	人社 A207	ラフォンテーヌ アンドレ	Melodrama can be seen as an expressive mode, a genre and an ideological form. As it relies heavily on emotions, pathos and sensationalism, melodrama has been criticized as "low brow" and relegated to the "woman's genre". In this course, we will discuss melodrama as a culturally situated genre and expressive mode, which incorporates a variety of stylistics and aesthetic conventions. We will finally explore melodrama's intertwinement with discourse of gender, race, nationalism and modernity.	西暦偶数年度開講。 02DSA48と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 in an online hybrid format (combining asynchronous [filmed lectures] and synchronous [TEAMS discussions] content)
OABAE49	英語圏文学文化研究(2A)	2	1.0	1・2					This seminar explores the women's genres in literature, radio, and film throughout 20th century America, as they intersect with changing social contexts and tastes. We will additionally explore production trends, criticism, and popular ideas about gender.	西暦奇数年度開講。 02DSA49と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 in an online hybrid format (combining asynchronous [filmed lectures] and synchronous [TEAMS discussions] content)

OABAE51	英語圏文学文化研究 (2B)	2	1.0	1・2							This seminar approaches the writers and filmmakers working in pulp and Noir films in Hollywood from the 1930s to the late 1950s and beyond. We will examine the stylistic and thematic preoccupations of the genre, its roots in German Expressionism, as well as the influence of WWII, the Great Depression, and the detective novel. This seminar will allow students to develop further understanding of key mid-20th century American writers and filmmakers, the functioning of the Studio system, and two influential aesthetic traditions: film noir and the hardboiled detective novel.	対面授業の場合は人社 A207 西暦奇数年度開講。 02DSA51と同一。 英語で授業。 その他の実施形態
OABAE52	フランス文学研究 (1A)	1	1.0	1・2	春AB	金3	人社 A205	小川 美登里			20世紀以降のフランス文学を思想的・文化的背景とともに考える。文学におけるジャンルの解体と再構築 (ロマン、レシ、詩、エッセイなど)、あるいは哲学、絵画、音楽との交流を視野に入れながら、現代文学の特徴について考える。	西暦偶数年度開講。 02DSA52と同一。 その他の実施形態 状況に応じてオンラインか対面のハイブリッドとする
OABAE53	フランス文学研究 (1B)	1	1.0	1・2	秋AB	水3	人社 A205	小川 美登里			フランス文学界最高の文学賞であるゴンクール賞に焦点を当て、ゴンクール賞を受賞した作品、あるいはノミネートされた作品を読み、フランス現代文学の傾向を探る。文化、思想、社会との関連も射程に入れる。	西暦偶数年度開講。 02DSA53と同一。 その他の実施形態 状況に応じてオンラインか対面のハイブリッドとする
OABAE54	フランス文学研究 (2A)	2	1.0	1・2							20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。北アフリカやカリブ海など、フランス語圏文学の射程は大きく広がり、複数の言語、複数の文化背景をもつ作家も排出された。そうした多様性という観点からフランス文学を見直し、文学の可能性を問う。具体的なテキスト分析を中心に、批評文などを読み、理解を深める。	西暦奇数年度開講。 02DSA54と同一。 オンライン(オンデマンド型) 対面授業の場合は人社 B505
OABAE55	フランス文学研究 (2B)	2	1.0	1・2							20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。多様な文化やジャンル、言語が内包されるテキストを創造することで、メタレベルでの言語のあり方やその可能性を暗示するような作品も多く生み出された。そうした作品を分析することで、言語や翻訳など、文学作品を構成するテーマについて深く考える。	西暦奇数年度開講。 02DSA55と同一。 オンライン(オンデマンド型) 対面授業の場合は人社 B505
OABAE56	フランス文学演習 (1A)	2	1.0	1・2	春AB	木3	人社 B410	増尾 弘美			ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた文学作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。具体的な作家としてはラシーヌ、セヴィニエ夫人、サン=シモン等を取り上げるが、サン=シモンに関してはブルースト自身による模写も存在するので、それも考察対象とする。	西暦偶数年度開講。 02DSA56と同一。 対面
OABAE57	フランス文学演習 (1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木3	人社 B410	増尾 弘美			ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた文学作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。具体的な作家としてはバルザック、フローベール、サント=ブーヴ等を取り上げるが、ブルースト自身による彼らの模写も射程に入れながら、模写や批評がどのように小説へと姿容を遂げたのかについても考察する。	西暦偶数年度開講。 02DSA57と同一。 対面
OABAE58	フランス文学演習 (2A)	2	1.0	1・2							ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた美術作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。画家エルスチールについてはもとより、美術愛好家スワンに関しては現実の人間を絵画中の人物と同一視するという偶像崇拜の傾向があるので、それも芸術作品制作を阻むものという位置付けで見えていく。	西暦奇数年度開講。 02DSA58と同一。 対面
OABAE59	フランス文学演習 (2B)	2	1.0	1・2							ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた音楽作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。『ペレアスとメリザンド』のドビュッシー、19世紀フランスでワグネル主義の興隆を見たワーグナー、そして後期弦楽四重奏曲が流行ったベートーヴェンを主な考察対象とする。	西暦奇数年度開講。 02DSA59と同一。 対面

OABAE61	Transnational Literature (1)	2	1.0	1・2	春AB	火4	人社 A206	ヘーゼルハウス、ヘラト	"Transnational Literary Studies" does not only comprise literature (and other media) that is produced across borders and in various languages (including translation), it also analyzes the common multi-lingual and multi-cultural basis inherent in aesthetic productivity. The focus point of this course is on text, author, genre, period, aesthetics, media, methods or translation, depending on the needs and interests of its participants and the research focus of the instructor.	西暦偶数年度開講。02DSA61と同一。英語で授業。
OABAE62	Applied Humanities (1)	2	1.0	1・2	秋AB	火4	人社 A206	ヘーゼルハウス、ヘラト	The study of "Applied Humanities" focuses on the interface between traditional literary studies and society. In this course the focus will be on humanities' contribution to society and on career strategies. Students will have the opportunity to discuss their own approaches and design their own academic profiles. The course will also include analysis and discussion of literary and theoretical texts in an "Applied Humanities" perspective and introduce the relevant methodology.	西暦偶数年度開講。02DSA62と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OABAE63	Transnational Literature (2)	2	1.0	1・2					This course focuses on "Relational Studies in Literature" and analyzes and discusses how texts connect in literature, culture and politics in an international framework. The course will be based on the analysis and interpretation of interconnected primary literary texts proposed by the instructor or participants. It will also introduce and discuss various conceptualizations of "intertextuality", "relationality", "multilingualism" and translation".	西暦奇数年度開講。02DSA63と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OABAE64	Applied Humanities (2)	2	1.0	1・2					The study of "Applied Humanities" answers to social and intellectual needs of society and is especially dedicated to the understanding and solution-finding processes of global and local crises. The course will focus on topical material (especially literary publications) concerning long-term crises or acute disaster. Students will have the opportunity to do original literary research connected to the course's main topic.	西暦奇数年度開講。02DSA64と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
OABAE65	中国文学研究(1A)	2	1.0	1・2	春AB	木5		稀代 麻也子	論理的な思考力を鍛えて知の活用力を付けるために、120巻本『文選』の精読を通してその特徴を把握することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻43所収の詩・巻56所収の挽歌・巻63所収の騷・巻71所収の教・巻79所収の彈事・巻91所収の序・巻113所収の誄・巻47所収の詩・巻61所収の雜擬を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦偶数年度開講。02DSA65と同一。オンライン(同時双方向型)
OABAE66	中国文学研究(1B)	2	1.0	1・2	秋AB	木5		稀代 麻也子	論理的な思考力を鍛えて知の活用力を付けるために、鈔本で『文選』を読み、諸本の注釈と比較検討をすることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻47所収の詩・巻56所収の雜歌詩・巻66所収の騷・巻71所収の策秀才文・巻85所収の書・巻93所収の頌・巻116所収の碑・巻48所収の詩・巻68所収の七を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦偶数年度開講。02DSA66と同一。オンライン(同時双方向型)
OABAE67	中国文学研究(2A)	2	1.0	1・2					論理的な思考力を鍛えて知の活用力を付けるために、集注本で『文選』を読み、各注の特徴を確認することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻48所収の詩・巻59所収の雜詩・巻68所収の七・巻73所収の表・巻88所収の檄・巻94所収の賛・巻56所収の楽府・巻66所収の騷・巻98所収の史論を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦奇数年度開講。02DSA67と同一。オンライン(同時双方向型)

OABAE68	中国文学研究(2B)	2	1.0	1・2				論理的な思考力を鍛えて知の活用力を付けるために、『唐鈔文選集注彙存』を読み、補注をつけることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻56所収の楽府・巻61所収の雜擬・巻71所収の令・巻79所収の彈事・巻88所収の雜・巻98所収の史論・巻59所収の雜詩・巻85所収の書・巻91所収の序を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦奇数年度開講。 O2DSA68と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAE91	文学研究演習A	2	2.0	2	春ABC	随時	増尾 弘美, 谷口 孝介, 馬場 美佳, ラフォンテーヌ アンドレ, 青柳 悦子, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子	文学サブプログラムにおいて修士論文を作成する2年次生が、自己の所属するサブプログラム・専門領域のみならず、他の専門領域の教員も加わって随時に研究に関する議論を行いながら、資料の収集およびその具体的な考察の方法を検討しつつ、修士論文の構想を深めていく。	オンライン(同時双方向型)。対面
OABAE92	文学研究演習B	2	2.0	2	秋ABC	随時	増尾 弘美, 谷口 孝介, 馬場 美佳, ラフォンテーヌ アンドレ, 青柳 悦子, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子	文学サブプログラムにおいて修士論文を作成する2年次生が、自己の所属するサブプログラム・専門領域のみならず、他の専門領域の教員も加わって随時に研究に関する議論を行いながら、論文の構成および具体的な執筆方法を検討し、最終的な修士論文の完成を目指す。	オンライン(同時双方向型)。対面
OABAE97	海外研究実習	3	1.0	1・2	通年	応談	秋山 学	文学に関する修士論文を執筆する過程において、その研究成果をもって海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野を獲得することを目的とする。	履修にあたっては、事前に指導教員と相談のうえ、研究計画書(書式任意)を提出すること。 G科目。オンライン(同時双方向型)。対面